

科目名	通信法規		英文表記	Communication Law		平成28年3月22日	
科目コード	5208						
教員名:谷藤正一 技術職員名:						作成	
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
情報通信システム工学科	5年	選	学修	1単位	講義	前期	
科目目標 【MCC目標】	情報通信関連法規について、内容を条文に従って理解することにより、通信の規律に関する動向、基礎的な知識を深め、法令の基本的考え方を体系的に学習することを目的とする。 情報通信関連法規を独力で読破し理解し、通信関連資格の取得にもチャレンジできるようになるための基礎学力を習得する。						
総合評価	定期試験(60%)とレポート(40%)で評価する。 60%以上を合格とする。						
科目達成度目標とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)	達成度目標の評価方法	ルーブリック			
				理想的な到達レベル	標準的な到達レベル	最低限必要な到達レベル	セルフチェック
	50%	① 情報通信関連法規を独力で読破し理解する。 (A-1, B-3)	定期試験およびレポートで評価する。	情報通信関連法規を独力で読破し、理解したことを詳細に説明できる。	情報通信関連法規を独力で読破し、理解したことの概要を説明できる。	情報通信関連法規を独力で読破し、教科書を見ながら理解したことの概要を説明できる。	
	50%	② 通信関連資格の取得にチャレンジできるようになるための基礎学力を習得する。 (B-3)	定期試験およびレポートで評価する。	通信関連資格の取得にチャレンジし、資格試験に合格できる。	通信関連資格の取得にチャレンジできる程度の基礎学力を習得し、概要を説明できる。	通信関連資格の取得にチャレンジできる程度の基礎学力を習得し、教科書を見ながら概要を説明できる。	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	情報通信システム工学	
	○		◎		JABEEプログラム教育目標	◎A-1, B-3	
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(講習履修・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		60	0	40	0	100	
基礎的理解	①②	30		20		50	
応用力(実践・専門・融合)	②	30		20		50	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)							
主体的・継続的学修意欲							
授業概要、方針、履修上の注意	情報通信関連法規について、内容を条文に従って理解する。 毎回、各講義項目について要点をまとめさせ、レポートとして提出させることで理解度を確認する。						
教科書・教材	教員自作のパワーポイントの資料 情報通信法規教本(日本理工出版会) (参考図書)法規突破読本(電機通信協会)						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8	前期中間試験(行事予定で過変更可)				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末	期末試験				
16	講義ガイダンス	1	講義の目標・概要・進め方・参考図書を紹介する。	予習復習、レポート	
17	目的・電波法令・用語定義	1	免許の申請・審査・予備免許について学ぶ。	予習復習、レポート	
18	電波に関する条約	1	電波に関する条約について学ぶ。	予習復習、レポート	
19	無線局の免許(1)	1	無線局の開設について学ぶ。	予習復習、レポート	
20	無線局の免許(2)	1	免許の申請・審査・予備免許について学ぶ。	予習復習、レポート	
21	無線局の免許(3)	1	簡易な免許手続きについて学ぶ。	予習復習、レポート	
22	無線局の免許(4)	1	免許に係る諸事項について調査する。	予習復習、レポート	
23	後期中間試験(行事予定で過変更可)	1			
24	無線設備(1)	1	用語の定義について学ぶ。	予習復習、レポート	
25	無線設備(2)	1	電波の型式と質・電波に係る諸事項について学ぶ。	予習復習、レポート	
26	無線従事者(1)	1	無線設備の操作について学ぶ。	予習復習、レポート	
27	無線従事者(2)	1	従事者の資格の種類と免許について学ぶ。	予習復習、レポート	
28	運用(1)	1	禁止・防止事項、無線局の運用について学ぶ。	予習復習、レポート	
29	運用(2)	1	通信方法・業務書類について学ぶ。	予習復習、レポート	
30	監督と罰則	1	命令・検査・免許の取消・報告・罰則について学ぶ。	試験対策	
期末	期末試験	[1]	基礎知識に関する定期試験の得点により理解度を確認する。		
学習時間合計		15	実時間	11.25	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	レポート(その週の講義内容に沿った内容についてレポートを課す。)			各2時間×15回	
②	課題発表(テーマに沿った課題について調べ、発表資料を作り最低1回以上発表する。)			2時間×1回	
③					
備考欄					
<p>(JABEE関連共通記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで定める。 <p>(各科目個別記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この科目の主たる関連科目は、通信工学Ⅰ(4年)、通信工学Ⅱ(5年)、◎特許法・法学(5年)である。 <p>(航空技術者プログラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【航】は航空技術者プログラムの対応項目であることを意味する。 <p>(学位審査基準の要件による分類・適用)</p> <p>科目区分：[A群(講義・演習科目)] 情報通信工学に関する科目</p>					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)